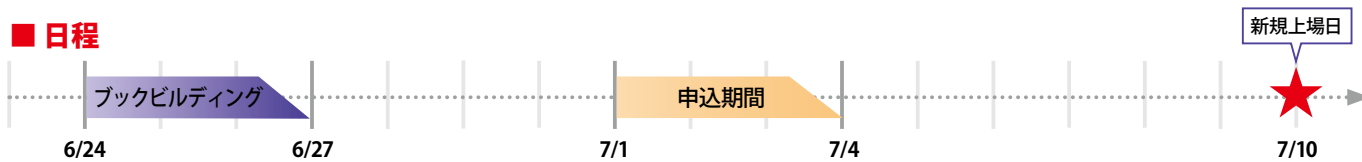


IPO銘柄 夢展望 (3185・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3185	100株	公募: 30.00万株 売出: 10.03万株 (OA6.0万株)	2,400円~2,600円 (20.4倍)	野村証券

■ 日程



若年女性をターゲットに衣料品のネット通販を手掛ける

■ 事業内容

サイト「夢展望」で10代後半から20代前半の女性をターゲットにした衣料品のネット通販を手掛ける。SPA（製造小売り）手法で展開しており、自社でスタジオを保有して商品撮影や画像加工、ウェブページ掲載までを一貫して行っていることが特徴で、これによりブランディングを強化している。13年4月末時点の会員数は138万人。取り扱いブランドは上品でキュートなフェミニンスタイルを提案する「ディアマイラブ」、大人の女性の美しさを提案する「メアリーローズ・オールドパルファム」など。衣料品のほかに玩具、雑貨の販売も行う。13年9月期第2四半期累計（12年10月～12年3月）の売上高構成比は衣料品販売事業が85.2%、玩具・雑貨販売事業が10.0%、その他事業が4.8%。

■ 特徴

商品の企画を行うバイヤー、デザイナーの8割が顧客と同世代の女性社員であり、マーケットのニーズを捉えた商品をタイムリーに提供することができる。顧客自身の写真を使ってバーチャル試着ができる無料アプリ「夢コレ」、取り扱う商品の検索ができるアプリ「夢展望プラス」も展開。販売比率はスマートフォン経由が68.8%（13年4月末）を占める。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年9月期の連結経常利益は前期比98.7%増の2億200万円を計画する。スマートフォン向けの販売比率が急拡大しており、若年層の消費動向にマッチしたビジネス展開で収益を急拡大させている。足元は春物のアイテム販売が好調に推移している。

■ 定性分析

IPOマーケットで人気の高いネット関連株で、スマートフォンを活用したビジネス展開の積極化が奏功していることもポイント。ネット株の中でもEコマース関連は継続的に市場が拡大しているカテゴリーであり、成長期待の高さが評価材料となりそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約12億円。株主にはベンチャーキャピタルが目立ち、その一部にはロックアップ条項がない。ただ、それを加味しても需給面への不安は乏しい案件とみられる。
(小泉 健太)

■ 類似企業

夢展望(3185・マザーズ)	予想PER20.4倍 (仮条件上限)
スタートトゥデイ (3092・東証1部)	予想PER32.1倍
フェリシモ (3396・東証1部)	予想PER22.1倍

■ 引受証券

野村証券、大和証券、SMBC日興証券、いちよし証券、岩井コスモ証券、エース証券、岡三証券、東洋証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年9月期(実績)	5,856	—	▲53	—	▲57	—	▲54.80	—
12年9月期(実績)	6,200	5.9	102	黒転	27	黒転	26.6	—
13年9月期(会社予想)	7,086	14.3	202	98.7	141	5.1倍	127.2	—

※ 11年9月期より連結決算。13年4月に株式分割(1株→300株)を実施。11年9月期および12年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年9月期	3,480	2,165	156	161	150.3	7.2	—
12年9月期	3,480	2,046	184	161	176.4	9.0	16.3

※ 11年9月期および12年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	岡 隆宏	612,000	50.72
2	ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	126,000	10.44
3	田中 啓晴	108,000	8.95
4	ニッセイ・キャピタル4号投資事業有限責任組合	42,300	3.51
5	SMBCキャピタル8号投資事業有限責任組合	40,800	3.38
6	岡 美香	36,000	2.98
7	岡 諒一郎	18,000	1.49
7	岡 駿志郎	18,000	1.49
7	三井住友銀行成長企業投資信託口受託者ソシエテジェネラル信託銀行	18,000	1.49
7	三菱東京UFJ銀行	18,000	1.49

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	岡 隆宏
専務取締役 システム部管掌 物流部管掌	田中 啓晴
常務取締役 販売促進部管掌	村上 久司
取締役 商品部長 東京商品部管掌	今井 隆一
取締役 管理部長	阪田 貴郁
常勤監査役	吉川 良文
監査役	石原 康成
監査役	大鹿 博文

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。